

すぺりあ佐屋

- 誰にでも快適なマンションをめざし -

NO. 105

《発行》平成20年(2008)8月1日
《発行者》スペリア佐屋管理組合理事長

<項目>

- 1、2008年夏祭り
- 2、ホームページの更新
- 3、挨拶ある暮らし

2008年夏祭り

「スペリア佐屋2008年夏祭り」を開催する予定です。

8月9日(土) 午後1時から

午後9時まで開催

すでにご案内の通り9日(土)に夏祭りを開催いたします。
マンション住民の親睦・コミュニケーションを計ることは、大切な事です。
その一環として開催する夏祭りに、一人でも多くの方の参加で、楽しい
思い出に残る夏祭りにしたいと思います。

2、ホームページの更新

スペリア佐屋ホームページは平成14年8月1日開設しまして丸6年間経ったことを機会に、今回更新の準備を始めました。

現在まで85000件超のアクセスがあり、他のマンション管理組合とのリンクもたくさんあります。

今後一年間で更新の準備を進めて来年7月末までに完了する予定です。したがって、現在のホームページはそのままアクセスできます。

平成14年ホームページの開設、その後の管理も 様にお世話になってきました。お忙しい中、ありがとうございました。

新しく開設するホームページは管理組合事務局で行う予定です。

ホームページアドレス等決まりましたら、お知らせいたしますので、活用をお願い致します。

3、挨拶のある暮らし

産経新聞 五十嵐論説副委員の次の様なコラムがありましたので一部を紹介します。

「こんにちは」「おつかれさま」。エレベーターやエントランスで、行き交う人たちが笑顔で声をかけてくる。そんなマンションがある。顔見知りとは限らない。相手は一瞬、驚きの表情をうかべたりもするが、なにげない挨拶につられ、自然に会釈を返している。見ているこちらまで、なんだか豊かな気持ちになる。

住民の間で日常の挨拶が交わされるマンションは気持ちが良い。こういうところは管理が行き届き、共用スペースも清潔に保たれているところが多い気がする。住民の関係もうまくいっている。不動産屋さんが勧める優良物件の選び方の一つだとも聞いた。(中略)

故山本夏彦氏は、日本の社会で挨拶が減じたのは大正デモクラシー以降になる。大正期は反儒教の時代で、親不孝が公認され、恋愛が謳歌された。その結果、親しき仲にも礼儀ありといった考え方が笑われるようになったとし、挨拶という言葉はいつしか減じたと嘆いた。と紹介されています。

「おはようございます」「こんにちは」と簡単なことですが、それが出来ない、また、出来ない社会になって来たこともあると思います。

朝、交通当番でヨシツヤ前にいますと外国の20歳代の女性が数名、毎日自転車で通勤しています。みんなが「おはようございます」と大きな声を掛けてくれます。思わずこちらもおはよう」と返していますが、非常にすがすがしい気持ちになります。

マンションは「現在のコンクリート長屋」と言う人もいます。お互いが助け合うためにも「おはよう」「こんにちは」等積極的に声を掛けることにより、連帯感が生まれ、住みよいマンションになるのではないのでしょうか。

7月度理事会

日 時 7月20日 午後8時~8時40分
出席 委任 欠席 ×

南西館			南東館			東館		

8月度理事会 8月24日(日)の予定です。